

eスポーツでいい里づくり交流促進事業

【団体名】美里町

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 美里町の高齢化率は県内でも高い水準となっており、その率は2005年の35.9%から2020年には44.5%となるなど、高齢化の進行に歯止めがかからない状況です。
- 今後ますます高齢者の増加が見込まれ、介護ニーズの高まりが予想される中、過疎化が進む美里町が持続的に発展していくためには、共助の基礎となる地域コミュニティと地域経済の活性化が必要であり、そのための大きな柱のひとつとして交流人口の拡大を図ることが重要となります。
- そこで、人々の直接的な交流が大きく制限されているコロナ禍において、オンラインによる交流人口の拡大を図るため、「eスポーツ」を活用した交流促進事業に取り組みました。

取組みの概要

- ◆ **高齢者の介護・認知症予防に関する取組みと他地域との交流促進**
 - ・ 交流大会に向けた介護・認知症予防事業
地域に在宅する高齢者を対象に、地区の公民館等で交流大会での競技種目である「ぷよぷよ」などのeスポーツを用いた事業を実施し、併せて認知・運動機能検査を実施しました。
 - ・ 交流大会
山鹿市と計2回の交流大会を実施しました。
- ◆ **子どものプログラミング教育の充実**
美里町立小学校2校（勸徳小学校5・6年生、中央小学校6年生）に講師を派遣し、eスポーツを用いたプログラミング授業を実施しました。



取組みの成果・現在の取組み状況

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、参加者減少や中止を余儀なくされた地区もありましたが、交流大会での競技種目「ぷよぷよ」をはじめとするeスポーツを活用した介護・認知症予防事業には、町内の延べ404人が参加しました。また、山鹿市との交流大会では、山鹿市から小学生を含む計49人の参加があり、地域外とのオンラインでの交流だけでなく、世代間交流も図ることができました。
- 令和4年度も地域づくり夢チャレンジ補助金を活用し、美里町内での事業開催地区の増加や、他県とのオンライン対戦による交流機会の創出を図るなど、事業を発展させて実施しています。
- 今後もeスポーツを用いた地域内外・世代間の交流促進事業を推進するとともに、高齢者の運動機能（握力）向上や娯楽の創出、デジタル機器への抵抗感を和らげることによる高齢者のデジタル社会への参加促進に取り組む予定です。